

知ってください 認知症のこと



第1回 認知症とは何か・中核症状と行動心理症状

慢性あるいは進行性の脳の疾患によって、記憶、思考、見当識、理解、計算、学習などの脳の機能が障害され、生活する上で支障がある状態を言い、それが意識障害のないときにみられる

認知症疾患治療ガイドライン2010

認知症の原因になりうる疾患

脳腫瘍 正常圧水頭症 内分泌異常(ホルモン異常) 感染 臓器不全
アルコール依存 薬物中毒 反復性低血糖 低酸素脳症 自己免疫疾患 など



認知症によるもの忘れと加齢によるもの忘れ

認知症によるもの忘れ	加齢によるもの忘れ
体験したエピソードそのものを忘れる	体験したエピソードの中の一部を忘れる
忘れたことを自覚していない	忘れたことを自覚している
探し物は誰かに盗られたという	探し物は努力して見つけようとする
年月日、曜日、季節がわからなくなる	年月日、曜日、季節をたまに間違える
話しのつじつまを合わせるために作り話をする	作り話はしない
ヒントを出しても思い出せない	ヒントを出すと思い出せる
ものごとを判断できない	ものごとを判断できる

* どちらも混在していることが多い

参考文献: 高瀬義昌監著「すぐに役立つ認知症の治療とケア」じほう、2011

認知症の中核症状と行動心理症状



Behavioral and Psychological Symptom of Dementia

行動・心理症状

認知症によって頻繁にみられる知覚、思考内容、気分、行動の障害

国際老年精神医学会定義

中核症状

必発

脳細胞が脱落することが直接の原因

記憶障害・実行機能障害・失行・失認・
見当識障害・言語に関する障害

生活上の問題

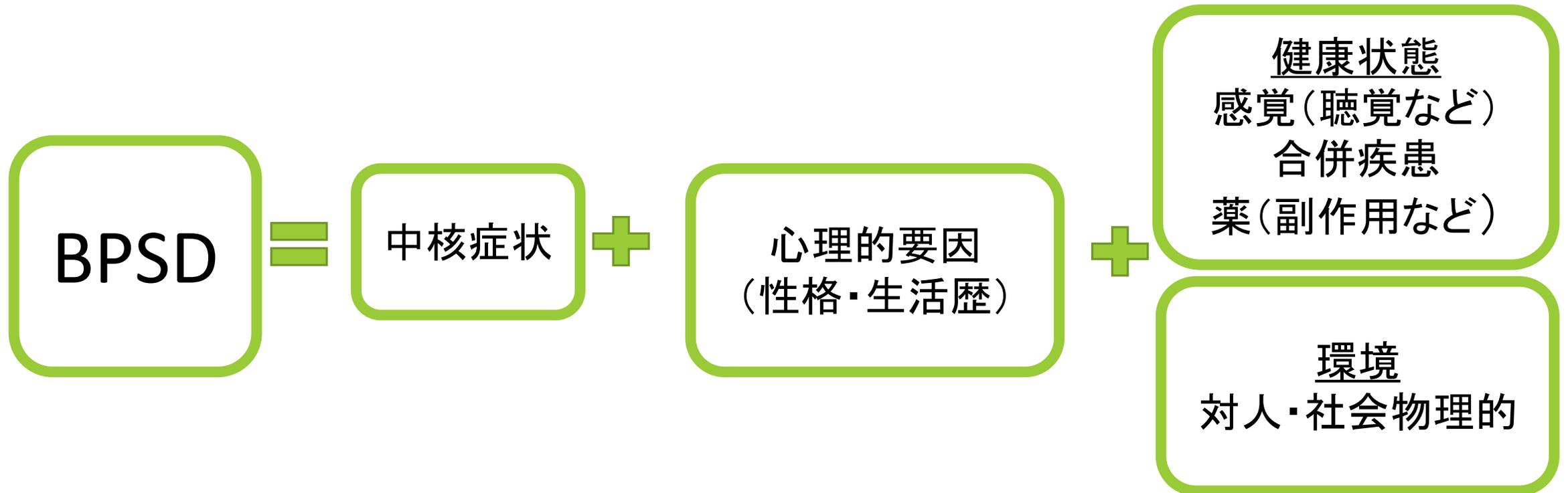
今までやれていたことができなくなる

行動・心理症状(BPSD)

必ず起こるわけではない

身体的攻撃性・喚声・不穏・焦燥・
徘徊・性的脱抑制・収集癖・
ののしり・つきまとい・
シャドーイングなどの行動症状

不安・抑うつ気分・幻覚・妄想などの
心理症状



認知症の人の心理的特徴

揺れ動く感情
聞いてないのにさっきも
言ったといわれる
無性に腹立たしい

慢性的な不快感
思い出せそうで思い出せない
思ったことが口に出ない

被害妄想
確かにしまったはずの物が
ない
あの人疑わしい



焦燥感
いくら探してもみつからない
思い通りに事が運ばない

混乱
言われていることがわからない
何をすればよいのかわからない

自発性の低下とうつ状態
何をやっても怒られる
何故怒られるかがわからない



他人事ではない認知症

2025年の予想 65歳以上の5人に1人は認知症
85歳以上の2人に1人は認知症

認知症を正しく知り、適切な対応ができる
「認知症フレンドリー」な地域を！

